取扱説明書

このたびは、弊社製品をお買い上げいただきましてありがとうございます。
ご使用の前にこの取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いくださいますようお願い申し上げます。
なお、この取扱説明書は大切に保管し、必要に応じてご覧ください。

安全上のご注意（必ずお守りください）

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

⚠ 警告	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
⚠ 注意	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。
（下記は絵表示の一例です。）

⚠ このような絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。

※お買い上げいただいた時計と取扱説明書のイラストは異なる場合があります。

保証とアフターサービスについて

1.保証について

正常なご使用で、保障期間内に万一故障が生じた場合には、保証書に従い、無償修理いたします。

2.定期点検（有償）について

安全に永くご使用いただくために、2～3年に一度点検（有償）を行ってください。
防水時計の防水性能は、経年劣化しますので、防水性能を維持するために、部品の交換が必要です。必要に応じてパッキングやバネ棒などの交換を行ってください。部品交換の際は、純正部品とご指定ください。
交換だけでなく他の部品の点検または修理を行う必要がある場合もありますので、交換修理料金など、詳しくはお買い上げ店または最寄の弊社お問い合わせ窓口にご相談ください。

3.電池について

お買い上げの時計に使用されている電池は機能・性能を確認するためのモニター用電池です。お買い上げ後、所定の電池寿命に満たないうちに寿命が切れてしまうことがありますのでご了承ください。
＊ご購入から1年以内に限り、電池を無償交換します。（1度のみ、要保証書）

お取り扱いにあたって

⚠ 注意　人への危害を防ぐために

- 幼児を抱くときなどは、幼児のけがや事故防止のため、あらかじめ時計を外すなど十分ご注意ください。
- 激しい運動や作業などを行うときは、ご自身や第三者へのけがや事故防止のため、十分ご注意ください。
- サウナなど時計が高温になる場所では、やけどの恐れがあるため絶対に使用しないでください。
- バンドの中留め構造によっては、着脱の際に爪を傷つける恐れがありますのでご注意ください。

⚠ 警告　防水性能について

- 非防水時計は、水中や水に触れる環境での使用はできません。
- 日常生活用防水時計（3 気圧防水）は、洗顔などには使用できますが、水中での使用はできません。
- 日常生活用強化防水時計（5 気圧防水）は、水泳などには使用できますが、素潜り（スキンダイビング）やスキューバ潜水などには使用できません。
- 日常生活用強化防水時計（10 ／ 20 気圧防水）は、素潜りには使用できますが、スキューバ潜水・ヘリウムガスを使う飽和潜水には使用できません。
- 時計の文字板および裏ぶたの防水性能表示をご確認の上、下図を参照して正しくご使用ください。
（1 bar は約 1 気圧に相当します）
- WATER RESIST (ANT) xx bar は W.R. xx bar と表示している場合があります。

名称	表示 文字板または裏ぶた	仕様	使用例 水がかかる程度の使用。（洗顔、雨など）	水仕事や、一般水泳に使用。	スキンダイビング、マリンスポーツに使用。	空気ボンベを使用するスキューバ潜水に使用。	水滴がついた状態でのりゅうずやボタンの操作。
日常生活用防水時計	WATER RESIST (ANT)	3 気圧防水	○	×	×	×	×
日常生活用強化防水時計	WATER RESIST (ANT) 5 bar	5 気圧防水	○	○	×	×	×
日常生活用強化防水時計	WATER RESIST (ANT) 10/20 bar	10 気圧防水 20 気圧防水	○	○	○	×	×

⚠ 注意　使用上の注意

- りゅうずは常に押し込んだ状態（通常位置）でご使用ください。りゅうずがねじ締めタイプであれば、しっかり固定されているか確認してください。
- 水分のついたままりゅうず操作をしないでください。時計内部に水分が入り防水不良となる場合があります。
- 万一、時計内部に水が入ったり、またガラスの内面にクモリが発生し長時間消えないときは、そのまま放置せず、お買い上げ店または、弊社お問い合わせ窓口へ修理、点検を依頼してください。
- 日常生活用強化防水時計の場合、海水に浸した時や多量の汗をかいた後は、真水でよく洗いよく拭き取ってください。
- 時計内部に海水が入った場合は、箱やビニールに入れてすぐに修理依頼をしてください。時計内部の圧力が高まり、部品（ガラス、りゅうずなど）が外れる危険があります。

⚠ 注意　携帯時の注意

《バンドについて》
- バンドの中留め構造によっては、着脱の際に爪を傷つける恐れがありますのでご注意ください。
- 皮革バンドは材質の特性上、水に濡れると耐久性に影響がでる場合があります（脱色、接着はがれ）。また、かぶれの原因にもなります。
- 皮革バンドの時計は防水時計であっても、水を使うときは時計を外すことをおすすめします。
- バンドは多少余裕を持たせ、通気性を良くしてご使用ください。
- ウレタンバンドは、衣類等の染料や汚れが付着し、除去できなくなることがあります。色落ちするもの（衣類、バッグ等）と一緒に使用する場合はご注意ください。また、溶剤や空気中の湿気などにより劣化する性質があります。弾力性がなくなり、ひび割れを生じたらお取り替えください。

《温度について》
- 極端な高温 / 低温の環境下では、時計が停止したり、機能が低下する場合があります。製品仕様の作動温度範囲外でのご使用はおやめください。

《静電気について》
- クオーツ時計に使われている IC は、静電気に弱い性質を持っています。強い静電気を受けると正しい時刻を表示しない場合がありますので、ご注意ください。

《磁気について》
- アナログ式クオーツ時計は、磁石を利用した「ステップモーター」で動いており、外部から強い磁気を受けるとモーターの動きがみだされて、正しい時刻を表示しなくなる場合があります。磁気の強い健康器具（磁気ネックレス・磁気健康腹巻など）、冷蔵庫のマグネットドア、バッグの留め具、携帯電話のスピーカー部、磁気調理器などに近づけないでください。

《ショックについて》
- 床面に落とすなどの激しいショックは与えないでください。外装・バンドなどの損傷だけでなく機能、性能に異常を生じる場合があります。

《化学薬品・ガス・水銀について》
- 化学薬品・ガスの中でのご使用はお避けください。シンナー・ベンジン等の各種溶剤及びそれらを含有するもの（ガソリン・マニキュア・クレゾール・トイレ用洗剤・接着剤・撥水剤など）が時計に付着しますと、変色・溶解・ひび割れ等を起こす場合があります。薬品類には十分注意してください。また、体温計などに使用されている水銀に触れたりしますと、ケース・バンド等が変色することがありますのでご注意ください。

⚠ 注意　時計は常に清潔に

- りゅうずやプッシュボタンを長期間動かさないままにしていると、付着しているゴミや汚れが固まり、操作できなくなることがありますので、ときどきりゅうずを空回りさせたり、プッシュボタンを押してください。また、ゴミ、汚れを落としてください。
- ケースやバンドは、肌着類と同様に直接肌に接しています。金属の腐食や汗、汚れ、ほこりなどの気づかない汚れで衣類の袖口などを汚す場合があります。常に清潔にしてご使用ください。
- ケースやバンドは直接肌に接しています。ケースやバンドに発生したサビ、汚れ、付着した汗、または金属、皮革アレルギーなどにより皮膚にかゆみ・かぶれを生じる場合があります。異常を感じたら、すぐに使用を中止して医師に相談してください。
- 皮革バンドは汗や汚れにより「色落ち」を起こすことがあります。乾いた布で拭くなどして常に清潔にご使用ください。

⚠ 注意　時計のお手入れ方法

- ケース・ガラスの汚れや汗などの水分は、柔らかい布で拭き取ってください。
- 金属バンド・プラスチックバンド・ゴムバンドは水で汚れを洗い落としてください。金属バンドのすき間につまったゴミや汚れは柔らかいハケなどで取り除いてください。
- 時計を長時間ご使用にならないときは、汗・汚れ・水分などをよく拭き取り、高温・低温・多湿の場所を避けて保管してください。

⚠ 警告　電池の取り扱いについて

- 幼児の手が届かないところに置いてください
- 誤って電池を飲み込んだ場合にはただちに医師と相談して治療を受けてください。
- 一般のゴミと一緒に捨てないでください。
発火、環境破壊の原因となりますので、お住まいの自治体の指示に従ってください

⚠ 注意　電池交換について

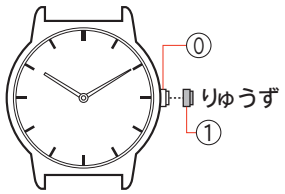
- 電池寿命切れの電池をそのままにしておきますと、漏液等により故障の原因となることがあります。
早めに電池交換してください。
- 電池交換の際は必ず指定電池をご使用ください。

BULOVA

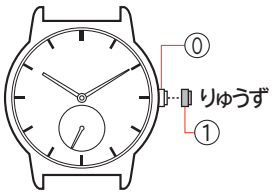
アナログ クオーツ 標準ムーブメント 簡易操作ガイド

時刻の合わせかた

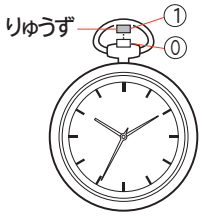
カレンダー(日/曜日表示)なしのモデル



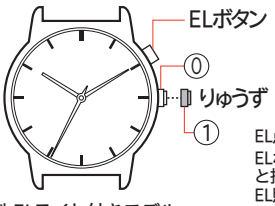
例:秒針なしのモデル



例:秒針ありのモデル



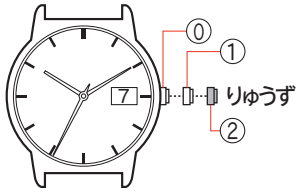
例:提げモデル



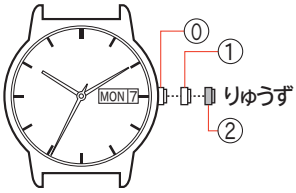
例:ELライト付きモデル

EL点灯方法
ELボタンを押すと押している間はEL照明が点灯します。

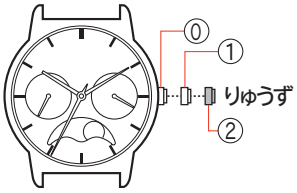
カレンダー付きのモデル



例:日表示モデル

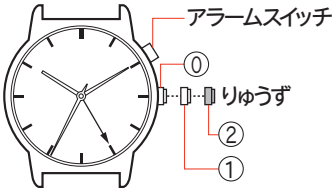


例:日/曜日表示モデル



例:月齢付きモデル

アラーム付きのモデル



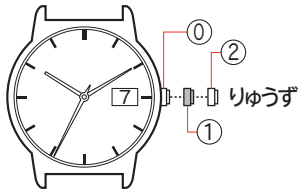
1. カレンダーなしのモデル： りゅうずの位置を①にする
   カレンダー付きのモデル： りゅうずの位置を②にする
   アラーム付きのモデル： りゅうずの位置を②にする
   - 秒針のあるモデルでは、0 秒を指しているときにりゅうずを引きます。
2. りゅうずを回して、時刻を合わせる
   - 合わせたい時刻よりも 4 ～ 5 分先に進め、分針を戻しながら合わせるとより正確に合わせることができます。
   - カレンダー付きのモデルでは、カレンダーも変わります。日表示の切り替わりに注意し、午前 / 午後を正しく合わせてください。
   - 月齢付きモデルは時刻と曜日が連動しています。
3. 時報に合わせて、りゅうずの位置を⓪にして終了する
   ※透明の円板に秒針がデザインされているモデルでは、正確な秒を読み取りにくい場合があります。ご了承ください。

カレンダーの合わせかた （カレンダー早修正）

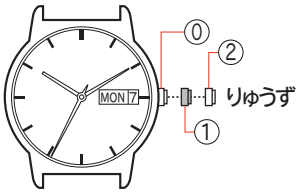
＜ご注意＞

時計の表示が、次の時間帯のときは、カレンダーを修正しないでください。翌日に切り替わらない場合があります。

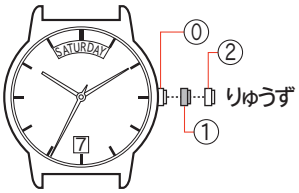
- カレンダー切り替え禁止時間：午後9時～午前6時



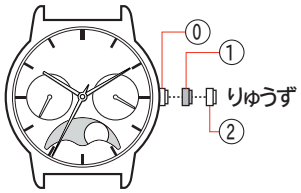
例:日表示モデル



例:日/曜日表示モデル



例:ワイドタイプモデル



例:月齢付きモデル

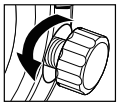
1. りゅうずの位置を①にする
2. りゅうずを回して、日 / 曜日を合わせる
   - 左回転: 日が切り替わります。
   - 右回転: 曜日が切り替わります。

   ※日表示のみのモデルでは、空回りします。
   ※月齢付きモデルでは、月齢が替わります。
3. りゅうずの位置を⓪にして終了する
   - 曜日の切り替わり時間は、モデルによって異なります。
   - 曜日表示がワイドタイプのモデルは、曜日表示が切り替わるとき一時的に日表示が見えなくなります。
   - 日は 31 日周期です。3 月、5 月、7 月、10 月、12 月の月初めには日を修正してください。

ねじロックりゅうずの使いかた

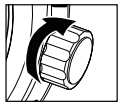
モデルによっては、誤操作を防ぐため、りゅうずがねじロック式になっています。
ねじロック式のりゅうずは、りゅうずのロックを解除してから、操作してください。
また、操作が終わったら、りゅうずをロックしてください。

＜ロックを解除する＞



りゅうずが飛び出すまで、りゅうずを左に回す

＜再びロックする＞



りゅうずを押し込みながら右に回し、しっかり締める

月齢の合わせかた

新聞などで当日の月齢を確認して合わせます。

- 新月（月齢 0）または満月（月齢 15）のときが、合わせやすいです。

1. りゅうずの位置を①にする
2. りゅうずを右に回して月齢を合わせる
3. りゅうずの位置を⓪に戻す

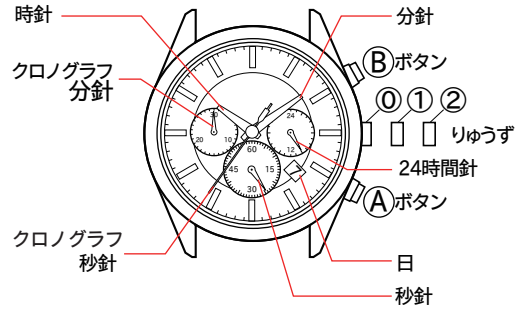
＜月齢の見かた（目安）＞

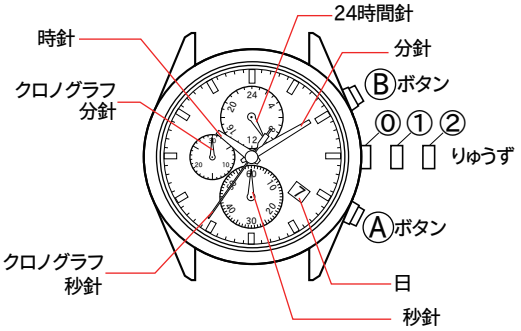
- 月齢（月の満ち欠け）を目安で表示しています。
  実際の月の見えかたを表示しているものでは有りません。

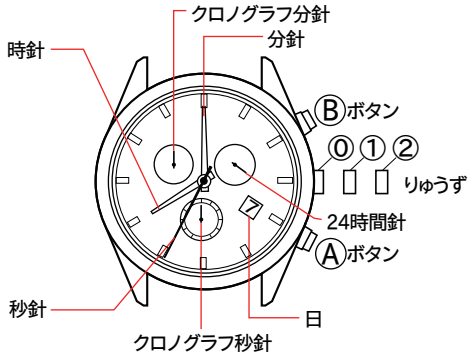
BULOVA

小秒針クロノグラフ・カレンダー　簡易操作ガイド

各部の名称



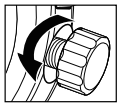
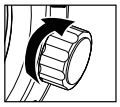




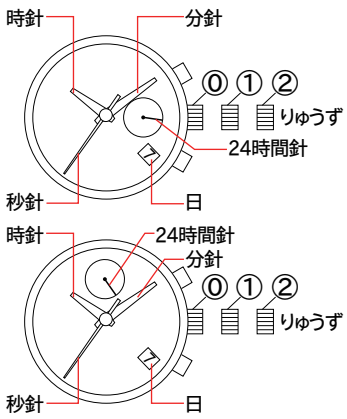
お買い上げいただいた時計とイラストは異なる場合があります。

ねじロックりゅうずの使いかた

モデルによっては、誤操作を防ぐため、りゅうずがねじロック式になっています。
ねじロック式のりゅうずは、りゅうずのロックを解除してから、操作してください。
また、操作が終わったら、りゅうずをロックしてください。

<ロックを解除する>	<再びロックする>
	
りゅうずが飛び出すまで、りゅうずを左に回す	りゅうずを押し込みながら右に回し、しっかり締める

時刻・カレンダーの合わせかた



<時刻の合わせ方>

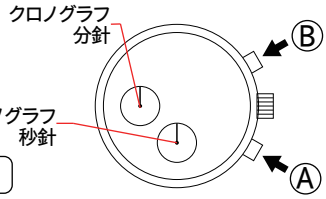
1. 秒針が0秒を指しているときにりゅうずの位置を②にする
2. りゅうずを回して、時刻を合わせる
   - 合わせたい時刻よりも4～5分先に進め、分針を戻しながらあわせるとより正確に合わせることができます。
   - 24時間針は時針に連動して動きます。
3. 時報に合わせて、りゅうずの位置を⓪にして終了する

<カレンダーの合わせ方>

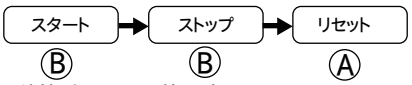
1. りゅうずの位置を①にする
2. りゅうずを右に回して日を合わせる
   - 午後9時から午前4時の間は、日表示が切り替わる時間帯です。この時間帯での日の修正はさけてください。
3. りゅうずの位置を⓪にして終了する
   - 3月、5月、7月、10月、12月の月初めには、日を修正してください。

クロノグラフの使いかた

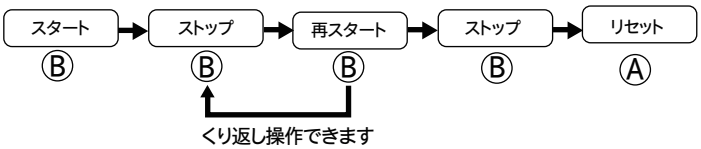
- このクロノグラフは、1秒単位の計測で、最大60分までを計測表示します。30分を超えると自動停止します。



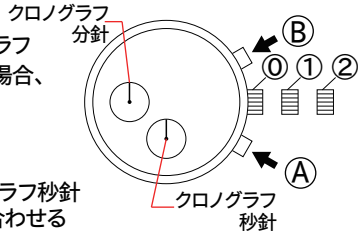
<普通の使い方>



<積算計としての使い方>



クロノグラフ針の“0”位置合わせ



クロノグラフをリセットしても、クロノグラフ秒針/クロノグラフ分針が0を指さない場合、0に戻します(「0」位置合わせ)。

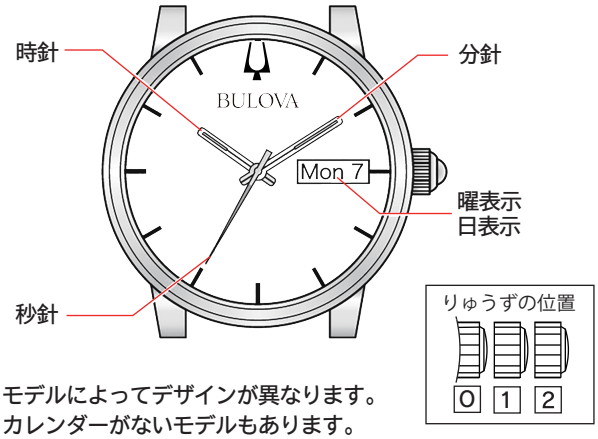
1. りゅうずの位置を②にする
2. Ⓑボタンをくり返し押して、クロノグラフ秒針/クロノグラフ分針を「0」位置に合わせる
   - Ⓑボタンを押し続けると、針は早く動きます。

   注) Ⓐボタンを押すと、針は反時計回りに動きます。
   針を反時計回りに「0」位置に合わせると正しく合わせられない場合があります。
   このようなときは、Ⓑ ボタンを押して、時計回りで「0」位置に合わせます。
3. りゅうずの位置を⓪にして終了する

BULOVA

手巻 / 自動巻（2針・3針・カレンダー） 簡易操作ガイド

各部の名称

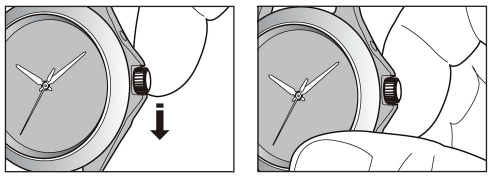


・モデルによってデザインが異なります。
・カレンダーがないモデルもあります。
カレンダーがないモデルは、2 位置はありません。

ぜんまいを巻き上げる

ぜんまいを手で巻き上げる

1. りゅうずの位置を 0 にする
2. りゅうずを右に回して、ぜんまいを巻き上げる



・りゅうずの下側を指の腹で下方向にこするようにして、りゅうずを回します。

・時計が止まった状態から、りゅうずを約４０回転させるとぜんまいは充分に巻き上げられます。
・ぜんまいが充分に巻き上げられたときりゅうずを回しても、ぜんまいが切れる心配はありません。

自動巻時計の場合

腕の動きによって、内部の回転おもりが動き、ぜんまいが自動で巻き上げられます。
・腕の動きが少ないときは、巻上げが不足することもあります。
・ぜんまいが充分に巻き上げられると約４０時間動きます。
・時計を１日８時間以上身に着けていると、時計がおよそ一日動く分のぜんまいが自動で巻き上げられます。

時刻とカレンダーを合わせる

時刻を合わせる

・日表示が切り替わったときが午前 0 時です。午前／午後を間違えないよう注意します。

1. りゅうずの位置を 2 にする
   カレンダーが付いていないモデルの場合は 1 位置にします。
2. りゅうずを回して、時刻を合わせる
3. りゅうずの位置を 0 にして終了する

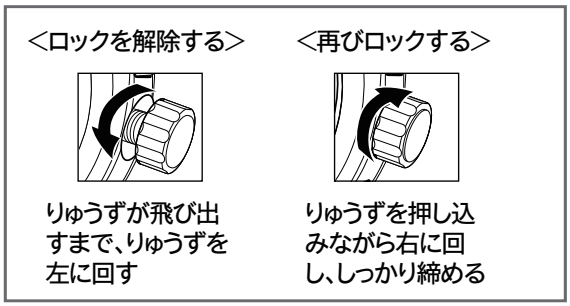
カレンダーを合わせる

・時計が午後 9 時～午前 4 時 30 分を示しているときは、日表示合わせをさけてください。日表示が切り替わらなくなる場合があります。
・この時計は 3 月、5 月、7 月、10 月、12 月の各 1 日には、日表示の修正が必要です。

1. りゅうずの位置を 1 にする
2. りゅうずを左に回して、日を合わせる
3. りゅうずを右に回して、曜を合わせる
4. りゅうずの位置を 0 にして終了する

ねじロックりゅうずの使いかた

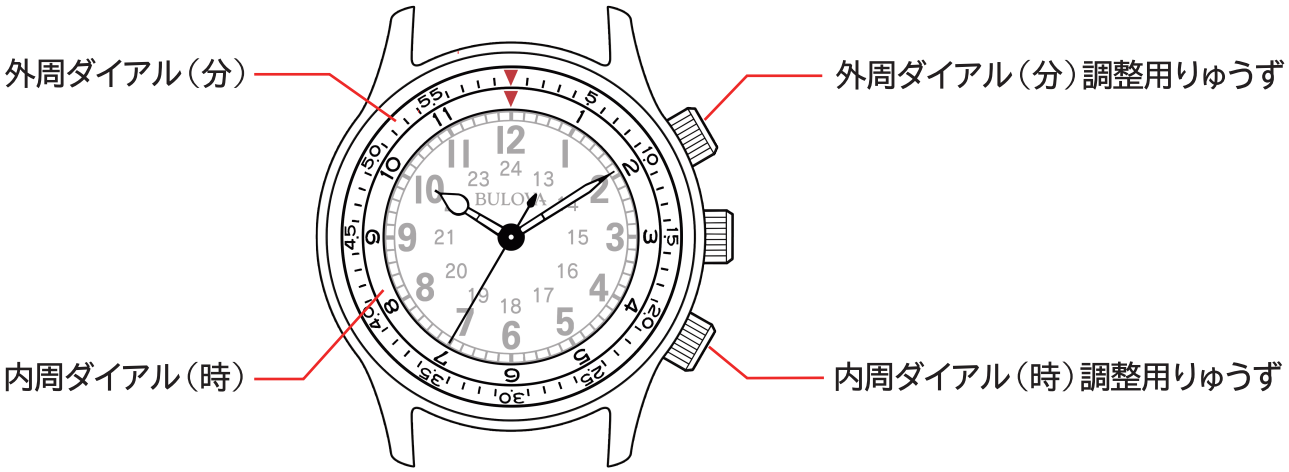
モデルによっては、誤操作を防ぐため、りゅうずがねじロック式になっています。
ねじロック式のりゅうずは、りゅうずのロックを解除してから、操作してください。
また、操作が終わったら、りゅうずをロックしてください。



BULOVA

回転ダイヤル（96A245）について

外周と内周の回転ダイアルを使用して、経過時間を計測できます

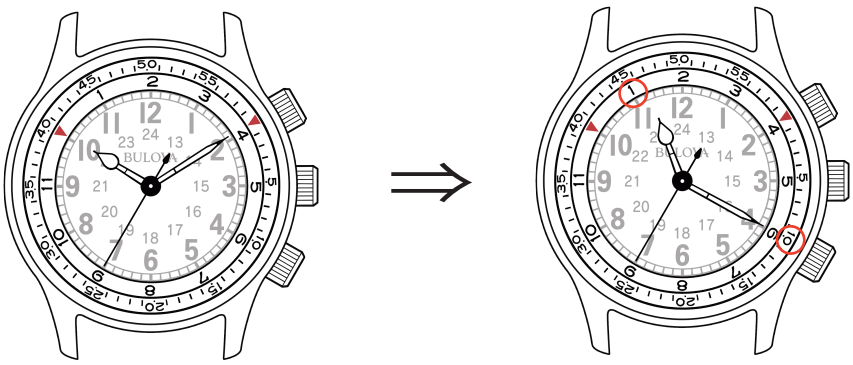


使用方法

1）計測開始時にそれぞれの回転ダイアルのゼロマーク【▼】を現在の時刻の時針、分針の位置に合わせます。

2）以後、それぞれのダイアルのメモリを読み取れば、経過時間が求められます。

例）

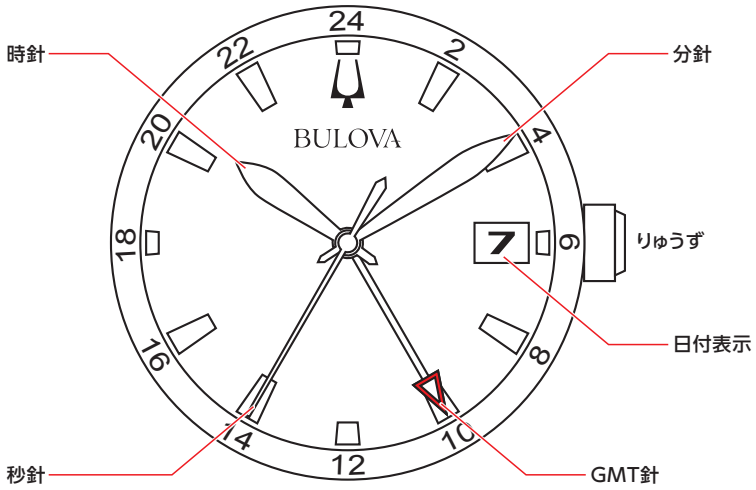


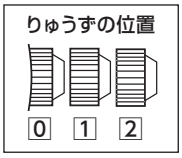
計測開始時刻【10:10】　　経過時刻【11:20】＝経過時間は1時間10分

BULOVA

CLASSIC GMT時刻設定方法(96B385.97B210)

各部の名称





1 1段引き(時針設定)
2 2段引き(分針・GMT針設定)

GMT針を24時間針として使用する場合

1. りゅうずを2の位置まで引き、GMT針と分針を現在の時刻に合わせてください。
2. りゅうずを0の位置まで戻し、その後りゅうずを1の位置まで引きます。
3. りゅうずを回して、日付を合わせます。(時針と日表示は連動して動きます。)
4. 午前、午後に注意しながら時針を現在の時刻に合わせます。
5. 時針とGMT針がそれぞれ現在の時刻を表示していることを確認後、りゅうずを0の位置まで戻してください。

GMT針を他の地域の時刻を表示させる場合

1. りゅうずを2の位置まで引き、GMT針と分針を表示させたい地域の時刻に合わせてください。
2. りゅうずを0の位置まで戻し、その後りゅうずを1の位置まで引き、午前/午後に注意しながら時針を現在自分のいる場所の時刻に設定してください。
3. りゅうずを0の位置まで戻してください。

例) 東京15時、ニューヨーク2時(日本から−13時間)に設定する場合

1. りゅうず2の位置で分針とGMT針を2時に設定してください。
2. りゅうずを0に戻し、その後りゅうずを1の位置に設定し、時針を15時に設定してください。